



## 2017年 年頭所感

公益社団法人 東京屋外広告協会  
会長 石井卓爾



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2016年から本年にかけて我が国内外において様々なできごとがございました。

国内では引き続きアベノミクス第三の矢としての成長戦略が策定され、さらなる改革が進められるようでございます。海外に目を向けますと昨年11月の米国大統領選でドナルド・トランプ氏が次期大統領に選出され、今後の国際関係の情勢など各方面での影響が話題となっておりますが、特に政治・経済両面で調和のとれた政策運営とこれまでのように固く良好な関係が維持、発展することを期待したいと存じます。

また、昨年はリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピックが開催され、今は次の開催地である東京に世界の期待と注目が集まっています。現在、日本の訪日外客は2000万人を超え、国内各地をはじめ東京都内においては浅草、銀座など街での滞在を楽しむ外国人を多く見かけるようになりました。

街の賑いと共に、東京では再開発などにより、各地の街の姿が新しく変わりつつあります。2020年以降も視野に入れた新しい賑わいの創出や、防災を整備した首都東京を目指した都市づくりが加速しています。

このように大きく変化する東京において、景観と調和する街並みの演出を目指すのが東京屋外広告協会にとりまして、まさに今、新しい屋外広告の魅力創出の時代が到来している、またとない機会ではないかと存じます。当協会といたしまして、この機会を活かし、様々な場面で活動することができればと存じます。

2017年が皆様にとりまして、ますます飛躍の年でありますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

(東京商工会議所特別顧問・三和電気工業株式会社社長)

平成28年度第2回理事会開催

各委員会だより

屋外広告の売上高

エリア特集 「渋谷駅周辺と屋外広告」

各区の情報 新宿区、足立区

広告関連情報 JAROと粧工連の共同調査

「まちのブランド力を高める看板や店舗デザイン」

株式会社カラーデザイン研究所 杉山朗子氏

(日本のサインと空間デザイン)

あなたの未来を、カタチに。



## 株式会社フジサワ・コーポレーション

藤澤工業株式会社 株式会社ローヤルカラー 株式会社サワダ

<http://www.fujisawa-corp.co.jp>

本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1丁目10番地8号  
コマーシャル・イメージング事業部 TEL 03-3973-1641 / FAX 03-3973-2517

平成28年度第2回理事会開催

## 第10回東京屋外広告コンクールの実施などを審議



10月26日、丸の内二丁目ビルにて東京屋外広告協会(以下:屋協)の平成28年度第2回理事会が開催されました。

開会にあたり、石井会長から、次のような挨拶がありました。

「最近、森記念財団の都市戦略研究所がまとめた2016年版「世界の都市総合ランキング」では東京がロンドン、ニューヨークに次いで3位、米国の有力旅行雑誌では世界の魅力ある都市として、東京が昨年15位、今年1位になったことなどが掲載されました。国を挙げての訪日外客の誘致の成果の表れと言われています。今後は東京の潜在力をさらに高めるため、一層魅力ある都市づくりに努めていかなければなりません。そこで「第10回東京屋外広告コンクール」は東京の美しい景観を創出する使命の基、隔年で実施している当協会の主要な事業です。世界の都市間競争が激しい中、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、本コンクールが都市の魅力の向上に寄与する事業となることを期待したいと思います。」

理事会は石井会長の議事進行により理事16名(理事25名)、監事3名の出席を得て会議が進められ、まず10月19日に総務委員会で検討した理事会に因る事項について間宮総務委員長より報告がありました。続いて『第10回東京屋外広告コンクール』の実施について、『第10回東京屋外広告コンクール実施に伴う特別会費及び協力金の依頼』について、同実施委員会の高村委員長(当会副会長)より説明がありました。東京屋外広告コンクールは今回が第10回目という節目を迎え、第1部門～第4部門までの内容と応募者にわかり易くすること、第2部門にバスシェルターを追加、さらに募集期間は11月1日より早めの設定で行うことなどを見直しを図ったことなどが報告されました。本件は当協会が隔年で行う主要事業であり、速やかに進める必要があり、事業計画で承認済みであることから、一部内容追認となることも含めて満場一致で承認されました。



最後に事務局から業務執行状況報告がなされ、閉会には高村副会長から挨拶があり第2回理事会は滞りなく終了しました。

人が通う。心が、かよい合う。

交通メディアのトータルプランニング

Advertising Agency

SHUNKOSHA

株式会社春光社

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-5 TEL:03-3538-9320 (代) <http://www.shunkosha.co.jp/>

各委員会日より

## 東京屋外広告コンクール実施委員会などを開催

東京屋外広告協会では第10回東京屋外広告コンクール実施に伴い、東京屋外広告コンクール実施委員会の開催、車体利用広告デザイン審査委員会では東京都都市整備局長奨励賞の選出などが行われました。

### ◇総会・理事会案件を検討◇

総務委員会（委員長：間宮泰三 理事・協立広告会長）が理事会に先立ち10月19日に協立広告株式会社社会議室にて開催されました。10月26日開催の理事会にて審議する第10回東京屋外広告コンクールの実施、同コンクールの実施に伴う特別会費及び協力金についてなどを主に検討しました。

### ◇東京屋外広告コンクール実施の詳細を審議◇

東京屋外広告コンクール実施委員会（委員長：高村徹 副会長・昭和ネオン社長）が9月21日に丸の内二丁目ビル会議室で開催されました。今回の東京屋外広告コンクールは第10回目の節目を迎えていることから、各部門の内容や募集要項をわかり易くまとめるなど、見直しを行いました。また、募集期間を11月1日からと早めの設定を行いました。審査は来年2月、表彰式は3月7日、学士會館で開催することとなりました。近年応募件数が減少傾向にあることから、広く東京屋外広告コンクールについて周知するとしました。



### ◇TOAA REPORT 9月号の企画検討を進める◇

広報委員会編集小委員会（委員長：稲川一 理事・文宣社長）が9月8日に丸の内二丁目ビル会議室にて開催されました。機関紙「TOAA REPORT」の9月号の掲載内容について検討したほか、今後の企画内容などについて広く情報交換、意見交換を行いました。

**地域コミュニケーションは、  
良質なメディアで。**

●電柱広告・交通広告・屋外広告・広告企画

株式会社  
**東 広**

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル5階  
Tel.03(3546)1050(代) Fax.03(3546)1060

町田支社 〒194-0013 東京都町田市原町田3-8-12 網倉ビル3階  
Tel.042(728)1235(代) Fax.042(722)6915

埼玉営業所 〒336-0963 埼玉県さいたま市緑区大門3700  
Tel.048(690)4600(代) Fax.048(812)1116

ホームページ <http://www.toko-ad.co.jp>



◇第2回東京都都市整備局長奨励賞の審査◇

車体利用広告等デザイン審査委員会（委員長：福山達雄 理事・日広通信社社長）が12月16日に丸の内二丁目ビル会議室で開催されました。当日は東京都の屋外広告物担当課長の遠藤和幸氏より車体利用広告を始めとする屋外広告の最近の状況についての話がありました。また、前回から車体利用広告デザイン審査をした中から優秀作品を表彰する



東京都都市整備局長奨励賞を実施することとなり、今年度は第2回目となることから同委員会では平成27年1月から約2年分の約800件に上る作品の中から絞り込みを行い優秀なデザインを選出しました。発表、表彰式は第10回東京屋外広告コンクールと同日に行う予定となっています。その他日々の車体利用広告デザイン審査を行う中で気になるデザインや注意すべき点について意見交換を行いました。

\*\*\*\*\*

東商 社長ネット —東京の元気な社長さん— のご紹介

東京商工会議所のホームページでは2014年12月から「東商 社長ネット」を開設しています。東商の会員企業の“社長の魅力”を東京から全国へ広く発信することを目的としています。このサイトでは経営ビジョンや自社の強みなど会社に対する“社長の想い”から座右の銘等社長個人の素顔までご紹介しています。

東京屋外広告協会の会員の皆様の多くが東京商工会議所の会員になられていることから、情報提供させていただきました。掲載料は無料。

詳細は [東京商工会議所](#) ⇒ [「東商 社長ネット」](#) のバナーからご覧ください。

お問合せ 東京商工会議所広報部 PR 担当

E-mail : [shachonet@tokyo-cci.or.jp](mailto:shachonet@tokyo-cci.or.jp) 電話 : 03-3283-7258

あらゆるニーズに応えます。

# 都営交通広告会

お問い合わせは

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-5 京橋スクエア  
株式会社 春光社内

TEL 03-3538-9320(代) FAX 03-3538-9220

## 屋外広告の売上高 平成28年7-9月は前年より増加 特定サービス産業動態統計調査9月確報(平成28年11月16日)より

平成28年11月16日に経済産業省から「特定サービス産業動態統計調査」9月の確報が発表されました。9月の広告業全体は7月、8月の2か月連続で減少したものの、屋外広告、SP・PR・催事企画やインターネット広告などが増となっています。「屋外広告」の売上高は7月に対前年比4.5%増で、官公庁・団体、流通小売等が、8月は7.1%増で薬品・医療用品、飲料・嗜好品等がプラスに寄与しました。9月の売上高は約57億円で、エステ、エンターテインメント関連が寄与したことで前年同月比2.7%の増となりました。また、平成28年度7月から9月の3カ月の実績は広告業全体として対前年1.5%増、屋外広告4.6%増となっています。

(単位:百万円)				(単位:百万円)			
区分	9月売上高	構成	前年比	区分	7~9月売上高	構成	前年比
4媒体広告合計	164,893	30.7%	100.9	4媒体広告合計	484,294	33.6%	100.1
<b>屋外広告</b>	<b>5,684</b>	<b>1.1%</b>	<b>102.7</b>	<b>屋外広告</b>	<b>16,038</b>	<b>1.1%</b>	<b>104.6</b>
交通広告	15,906	3.0%	94.4	交通広告	46,586	3.2%	95.7
折込・ダイレクトメール	53,869	10.0%	99.5	折込・ダイレクトメール	158,591	11.0%	99.1
海外広告	4,898	0.9%	100.4	海外広告	17,453	1.2%	104.2
SP・PR・催事企画	88,864	16.6%	109.1	SP・PR・催事企画	203,195	14.1%	99.2
インターネット広告	57,311	10.7%	115.8	インターネット広告	151,191	10.5%	115.8
その他	144,911	27.0%	103.7	その他	362,996	25.2%	101.6
合計	536,336	100.0%	104.0	合計	1,440,343	100.0%	101.5

経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」9月確報(28.11.16より)

※4媒体は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ

※数字は調整されています。(詳細はホームページ:経済産業省⇒統計)

### ～皆様と福祉をつなぐ共同募金～

昭和22年に国民総たすけあい運動として始まった「赤い羽根共同募金運動」は、皆様のご協力に支えられ、今年で70回目を迎えます。

皆様のお気持ち、サービスを必要としている人々に確実に届くよう、共同募金会は活動しています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### ★寄付が出来る自動販売機★

飲み物を購入すると自動的に寄付が出来る自動販売機の設置を進めています。社会貢献の一環として休憩室などへの設置をご検討ください。

※会社などの法人の寄付金は、指定寄付金として、全額損金算入にできます。

社会福祉法人 東京都共同募金会 TEL03-5292-3182

HP <http://www.tokyo-akaihane.or.jp>



赤い羽根共同募金

企画からデザイン・撮影・施工まで、あらゆる  
ビジュアルニーズに応える総合コマースラボ。

## デジタルの美しさを、人へ、街へ。

- 銀塩写真、インクジェット出力ともにデジタル対応
- 屋外広告やバス/地下鉄のラッピングなど幅広く対応

**IGG** 株式会社 ラボ・銀座  
東京都中央区日本橋箱崎町20-13  
TEL. 03-5614-4440 〒103-0015

## 渋谷駅周辺と屋外広告 ～街の活気や賑わいを維持するための取組み～

平成28年10月時点での日本政府観光局の推計によると訪日外客数は約2,011万人、平成27年に東京を訪れた外国人旅行者は東京都の統計によると約1,189万人に上っています。

常に内外からの観光客でにぎわう東京では現在、銀座、丸の内、渋谷等各地で再開発が進められ、新しい街並みが次々に誕生しつつあります。そして街のにぎわいの創出に欠かせないのが「屋外広告」。中でも渋谷駅周辺の再開発事業では2027年の完成までの間、街の活気や賑わいを維持するために屋外広告を活用した取組みが行われています。

### 渋谷らしさ ～「渋谷スクランブル交差点」人気～

若者の街、文化やトレンドの発信地というイメージがある渋谷。この街の魅力は「多様な文化を受け入れることに慣れている」つまり新しい文化を受け入れるベースがある寛容性を持った街だと関係者は言います。

中でも渋谷駅前にはJR山手線渋谷駅ハチ公口を降りると、目の前にいくつもの大型ビジョンが目に飛び込んできます。めまぐるしく変わる画面や音、そして数々の屋外広告に囲まれた「渋谷スクランブル交差点」では多くの老若男女が青信号でスタートを切り、時間内に渡ります。その光景に外国人は驚かされるようです。

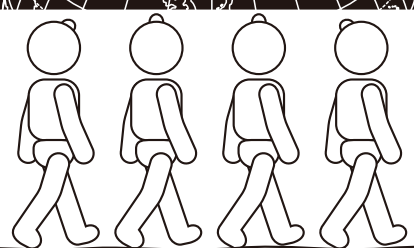
### 官民協力 ～一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント 発足～

2015年、渋谷駅前エリアマネジメント協議会の構成員である官民が連携して「一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント」を設立しました。渋谷を「世界に開かれた生活文化の発信拠点」とするために、渋谷駅前の公共空間において、屋外広告物の掲出スペースを確保し、この掲出利用による収益を街づくりのための様々な取組みに活用する仕組みとなっています。

同年には「遊び心で渋谷を動かせ」のコンセプトのもと『先進的で情報発信をするデザインであること』、『渋谷にくる多世代の人々の活動の話題となるデザインで、渋谷駅周辺の賑わい創出に寄与するもの』、『ハチ公広場全体と調和が図られたものとなるよう配慮する』等の地域ルールを策定、自主審査組織の立ち上げを経て、東京都屋外広告物条例の特例を受け、渋谷らしい広告の掲出を開始しました。

**進化するOOH。  
メディア開発力のNKB。**





つい見てしまう。なぜか気になってしまう。  
そんな広告を作りませんか？  
生活者の行動を捉えるプランニング力と、  
最新技術を取り入れたメディア開発力で、  
御社のプロモーションを強力にサポートいたします。

INTERACTIVE COMMUNICATION  
**NKBINC.**

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル  
TEL.03-3504-2100(代)  
<http://www.nkb.co.jp/>



## 賑わい創出に欠かせない屋外広告 ～ハチ公広場前「渋谷憲章シート」～

ハチ公広場前にある渋谷区と企業が連携した「渋谷憲章シート」（縦2.9m×横13.17m）の大型ボードへの広告掲出は非常に人気で、2週間という掲出期間としては短いサイクルとなっていますが、1年たった現在でもほぼ完売の状態が続いていると同時に、あらゆるジャンルからの問い合わせが多く寄せられているとのこと。



提供：TOKYU OOH

## 大型ビジョン

また、渋谷駅前には4面の大型ビジョンがあり、そのほとんどが各画面に同一意匠を放映する等、連動した広告掲出となっているとのこと。最近では外国人に対するPRの広告も出てくるようになりました。これらの大型ビジョンの広告については主に渋谷で屋外ビジョンを運営している企業が参画する「渋谷大型ビジョン連絡協議会」にて自主的に品質管理を行い、行政や地域のイベントへの放映協力を実施する等地域貢献にも力を入れています。

## 未来に向かって日々変化する渋谷 ～完成は2027年～

渋谷駅前は道玄坂など坂道の着地点で地形としては谷間になっています。再開発により「その坂道と平地の間にある三角エリア（SHIBUYA 109など）の特徴」をどう表現していくか、「どれだけ屋外広告を付けるのか」が問われてきます。



提供：渋谷駅前エリアマネジメント協議会

また、今後、渋谷駅周辺の屋外広告はデジタルサインエージが増加すると見えています。それは街のにぎわいの創出だけでなく、複数のビジョンが連携して随時情報を発信できることから、防災用としての活用が期待されるからです。

2018年には渋谷駅南街区（物件名：渋谷ストリーム）、以前の東横線渋谷駅のあたりに地上35階、地下4階、高さ180mの高層複合施設が完成予定です。今後2019年、2020年と開業が続き、東京オリンピック・パラリンピックの頃には、さらに新しい駅前の姿が誕生します。そして最終的に未来の渋谷の姿が完成するのは2027年の予定となっています。

（東京屋外広告協会 TOAA REPORT 編集担当）

※お話を聞きした主な方々 渋谷駅前エリアマネジメント協議会、東京急行電鉄株式会社  
株式会社東急エージェンシー

# The Visual Communication Company

キングプリンティング株式会社  
www.kingprinting.co.jp

□ 東京支社 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目5-8 西新橋一丁目川手ビル4F ☎03(3503)6700

## 各区の情報

## 新宿区

## 路上等障害物による通行の障害の防止に関する条例制定

平成 28 年 12 月 1 日施行

新宿区は路上等障害物による通行の障害の防止に関する条例を平成 28 年 12 月 1 日から施行しました。路上に許可なく置かれた看板、商品陳列台などの物件は、歩行者や自転車がぶつかり怪我をしたり、緊急車両が通行できなくなるなど、通行に障害を及ぼすおそれがありました。繰り返し路上等障害物が設置されるという状況が続いていることから新宿区では 23 区で初めて条例の制定となりました。

条例は区が路上や公共の場所で広告看板などの路上障害物を発見した場合、設置者に対し除去するよう指導するとともに、さらに放置している場合は勧告し、区が除去し一時保管することへの同意を求め、指導と勧告にもかかわらず繰り返し設置される場合は、区が除去し一時保管できるというものとなっています。

条例の対象区域は全区、そのうち重点エリアとして歌舞伎町など繁華街の 9 地区としており各方面と協力しながら取り組んでいくこととなっています。

※お問合せ 新宿区 みどり土木部 一 交通対策課 監察指導係 03-5273-3847

\*\*\*\*\*

## 足立区が策定

## 竹ノ塚駅周辺地区(中央ブロック)景観方針について

足立区は地区まちづくり計画が策定されている竹ノ塚駅周辺地区(中央ブロック)約 42ha を対象に都市景観の形成に向けた方針(景観形成方針)を昨年 11 月に発表しました。「鉄道高架化とまちづくりが紡ぐ竹の塚の新風景」を目標とし、竹ノ塚駅周辺の個性と一体性を持った都市景観の形成を目的としています。

目標は「鉄道高架化とまちづくりが紡ぐ竹の塚の新風景」。公共空間や公共住宅団地敷地内の豊かな緑、親しみある商店街等の既存の景観資源を活かし、東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)連続立体交差事業等駅周辺の都市基盤整備事業に伴う土地利用転換を適切に誘導することで、地区東西が一体となった新たな景観を創出するとしています。

景観形成は①商業系市街地、②沿道系市街地、③住居系市街地など 6 種の市街地ごとに方針を定めています。特に沿道系市街地としては屋外広告物に関わる「まち並みと調和のとれた広告物の誘導を図る」と明記されています。

※お問合せ 足立区 鉄道立体推進室 竹の塚整備推進課 03-3880-5250  
都市建設部 都市計画課 03-3880-5738

屋外広告・放送広告・交通広告・デジタルサイネージ事業

# NAGATA

長田広告株式会社 東京支社 東京都中央区日本橋小伝馬町7-2 古賀オールビル6F

Network事業部 Tel.03-5643-6480 Fax.03-5643-6476 交通事業部 Tel.03-5643-9330 Fax.03-5643-9331



広告関連情報

## 公益社団法人日本広告審査機構 (JARO) と 日本化粧品工業連合会 (粧工連) が 化粧品のネット上の広告・表示で初の共同調査

公益社団法人日本広告審査機構 (以下JARO) と日本化粧品工業連合会 (以下粧工連) は共同して、化粧品 (薬用化粧品を含む) におけるインターネット上の広告・表示の調査を外部機関に委託して実施しました。調査は スキンケア系12種類のキーワード検索により300件をサンプル抽出し、リスティング広告 (検索連動型広告) とリンク先の商品説明ページを対象に、医薬品等適正広告基準 (以下「基準」と言う) に照らして行われました。

### 【主な調査結果】

1. 300件の広告・表示の中で85%に問題表示のおそれ
2. リンク先の商品説明ページの83.3%、リスティング広告の22.3%に問題表示のおそれ
3. 商品カテゴリー別では1位が美容液の57件、2位がセット商品、化粧水で同数の52件  
※ 問題表示のおそれがある広告・表示255件の商品数は291。
4. 問題表示を「基準」別でみると基準3 (6) (効能効果又は安全性の保証) に該当するおそれがトップ
5. 179件の広告・表示に体験談の問題表示のおそれ

調査結果を踏まえて化粧品 (薬用化粧品を含む) の問題表示のおそれがある広告・表示が全体の85%を占めるという調査結果は、インターネット上で広告・表示を行う広告主が医薬品等適正広告基準を順守できていない実態を浮き彫りにしたと言える。スマートフォン等のタブレット端末の普及によりネット通販は以前に比べ一般化しているため、消費者保護の観点からインターネット上の広告・表示の適正化は急務である。

※ 「NEWS RELEASE」公益社団法人日本広告審査機構、日本化粧品工業連合会より

※ 詳細は公益社団法人日本広告審査機構 (JARO) のホームページご参照

※ お問い合わせ 公益社団法人日本広告審査機構 広報 電話 03-3541-2813

日本化粧品工業連合会 坂口 電話 03-5472-2530




## 東京の“ど真ん中”に情報発信

**東京地下鉄広告会**

【事務局】  
〒105-0003  
東京都港区西新橋1-6-21  
NBF虎ノ門ビル4階  
株メトロアドエージェンシー  
媒体本部 媒体管理局 管理部内  
TEL 03-5501-7835  
FAX 03-3593-6150

# まちのブランド力を高める看板や店舗デザイン ～色彩の側面から～

株式会社日本カラーデザイン研究所  
シニアコンサルタント 杉山 朗子

## 独自性のある特徴を生かすまちづくりとは

地域性を大切にしたまちづくりが最近注目されています。外国からのお客様たちにもっと楽しんでもらおうと思うと、どこもかしこも同じようなビルが立ち並ぶようになっては、魅力がないということから、独自性のある特徴を生かそうということでしょう。

しかし、地域らしさやまちの個性という、いろいろな要素がありすぎて、わからないだろうと思う方が大半なのではないでしょうか。

色彩計画の観点からとらえると、地域の特徴をとらえやすい面があるのでご紹介しましょう。



## 地域の色彩の特徴をとらえる3つの視点

色彩計画では現地調査を大切にしています。地域の色彩の特徴を捉える際に、3つの視点すなわち

●自然環境色 ●社会環境色 ●文化環境色からとらえていくのが基本です。

- ・自然環境色は、植生、土や砂、海や湖などを対象としますが、まち中では、生垣、庭木、鉢植えなどの観察が有効です。地形や気候が影響しますので、バリエーションは豊かです。
- ・社会環境色は建物、橋などの土木工作物、公共交通の車両・車体の色です。いろいろな産業で暮らしてきた歴史がありますから、色々な様相をとらえることができます。
- ・文化環境色は、日常生活のハレの色・ケの色全般で、祭りの色や行事の色、さらにはお店の看板やのれん・幟や店頭の設えなどの色使いなども観察します。特産物や名産のパッケージデザインにも、街の個性が反映されている場合も多いのです。これこそ生活の歴史が累積されていて、個性の発見に欠かせません。

## 看板や店舗デザインなどに生かしてエレガントに ～神戸の事例～

これらの個性をとらえ、積極的に看板や店舗デザインなどに生かしていくと、初めて訪れる人も繰り返し現れる色やデザインで、そのまちらしさを感じ取ってくれます。

そんな事例として、神戸などは典型的でしょう。震災からの復興を遂げてきた神戸は、「神戸」ブランド力の向上のために、デザイン協議なども丁寧に繰り返し、総合的マネジメントを行おうと取り組んできたとのことです。

グレイッシュなカラーの建物に、西欧調のクラシックな形状と繊細な書体の看板でエレガント、シック、上品というワードがぴったりする店舗が連なっ





ています。有名ブランドショップも、個人経営のショップも税理士事務所の看板もデザインコードに従っているようで、さすがと言わざるを得ません。

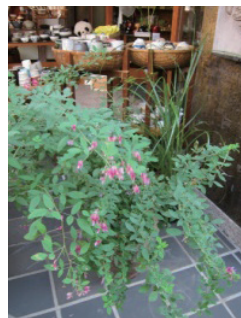


## 住宅地でも自分たちのスタイルを大切に

### ～江戸の風情も感じさせる谷中～

少し性質が異なりますが、東京の下町として人気の谷中を見てみましょう。ここでも商店街のみならず、住宅地でも自分たちのスタイルを大切にしています。谷中周辺は幸いなことに震災から逃れられた地区を含み、戦前のまちの様子をうかがうことができます。地形に沿ってくねくねした細い道も残り、食べ歩きしながらも安心して歩ける路地裏探索が評判です。

鉢植え文化も残り、竹や笹の類、萩などの季節の風情を伝える店先など、ここでも谷中ブランドを訴えています。



路地裏の住宅地でも近くの寺町の塀や昔ながらの木造家屋に調和するような木や土といった素材、新しい建材を使っても落ち着いた自然の色を意識して使いこなしているのがわかります。

## 「茶色」のまちから白い街へ ～金沢～

今年は新幹線開通の賑わいが少し落ち着いた金沢を訪れる機会がありました。この町は、「茶色」のまちと言って差し支えないと思います。地元の土木コンサルタントの方も賛同してくれました。タクシーも茶色で個性的な町でした。今回、まちを歩くと、そのタクシーは白地に細い茶色のモチーフがあしらわれたデザインに変更されていました。現代的というのでしょうか、だんだん白い街へと変貌しているのが少し残念な気持ちになりました。

それぞれのまちらしい色彩やデザインをきちんととらえて、魅力を伝えていってほしいものです。

Energy of Communication

# 広告もeCO時代へ。

あらゆる面から広告という情報力をプロデュースし、お客さまのニーズに合った広告戦略をご提案してまいります。

**KYORITZ**  
ADVERTISING AGENCY  
協立広告株式会社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町13-8 協立ビル Tel:03-3355-1911 Fax:03-3355-4170 URL:<http://www.kyoritz-ad.co.jp>

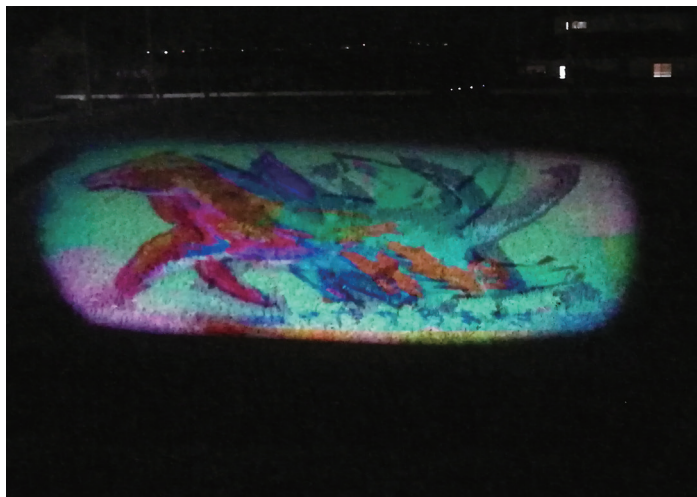


## 日本のサインと空間デザイン

### 相馬田んぼアートプロジェクト2016「光のおまつり」

青森県や秋田県などを始め田んぼアートが各地に広がっています。

東日本大震災の被災地で福島原発事故被災地でもある福島県相馬市岩子では、地域のシンボル「繋ぎ馬」をモチーフに2014年から毎年相馬田んぼアートプロジェクトが地元のNPOや全国から集まった多くの人達により実施されています。春に田植えをして、稲穂の色で田んぼに絵を描き、その絵をプロジェクションマッピングによって、色が変わり、動いているように見せる躍動感あるアートになっています。



出典 月刊 Signs & Displays 2016.10月号 (マスコミ文化協会発行) より

### 事務局だより

#### ◆会議・行事等報告

- 東京屋外広告コンクール実施委員会  
9月21日(水) 13時30分～15時 丸の内二丁目ビル
- 編集小委員会  
9月8日(木) 13時30分～14時30分 丸の内二丁目ビル
- 総務委員会  
10月19日(水) 13時30分～14時30分 協立広告
- 第2回理事会  
10月26日(水) 14時～15時 丸の内二丁目ビル
- 車体利用広告デザイン審査委員会  
12月16日(金) 13時30分～14時30分 丸の内二丁目ビル
- 編集小委員会  
12月22日(木) 13時30分～14時30分 春光社

#### ◆今後の予定

- 第10回東京屋外広告コンクール審査委員会  
2月6日(月) 13時～17時 丸の内二丁目ビル
- 第3回総務委員会  
2月下旬予定
- 第3回理事会  
3月7日(火) 14時～15時 学士會館
- 第10回東京屋外広告コンクール表彰式  
3月7日(火) 15時～16時 学士會館
- 車体利用広告デザイン審査委員会  
3月中旬予定

<http://www.ad-nikko.co.jp>

## 伝えることが仕事です。



総合広告代理店  
**株式会社日広通信社**

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-3 新麹町ビル2階 TEL.03-3263-3521(代) FAX.03-3263-3509

サイン・ディスプレイ/POP制作

電柱・交通広告/マスメディア

デザイン・印刷物・販促プランの提案

展示会トータルプロデュース

出展ブース企画・運営